

令和5年9月8日  
道路局

## スマートインターチェンジ等の 高速道路会社への事業許可および準備段階調査着手について

国土交通省は、スマートインターチェンジ4箇所及び地域活性化インターチェンジ1箇所について、本日付で高速道路会社へ事業許可を行いました。併せて、以下について行うこととしましたのでお知らせいたします。

- ・新たにスマートインターチェンジ7箇所の準備段階調査に着手

別添①：スマートインターチェンジ等の高速道路会社への事業許可について

別添②：スマートインターチェンジ等新規事業化箇所の整備効果

別添③：スマートインターチェンジの新規準備段階調査着手箇所について

### <問い合わせ先>

国土交通省 道路局 代表：03-5253-8111

高速道路課 谷口、清水（内線：38362、38353） 直通：03-5253-8500

## スマートインターチェンジ等の高速道路会社への事業許可

別添①

### スマートインターチェンジ※<sup>1</sup>の新規事業化箇所

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ <sup>2</sup>	連結位置	路線名	事業主体
みぶ 壬生PA	栃木県下都賀郡壬生町	北関東自動車道(都賀IC～壬生IC間)	NEXCO東日本 壬生町
やしろ 屋代	長野県千曲市	関越自動車道上越線(坂城IC～長野IC間)	NEXCO東日本 千曲市
かけ 加計(フル化)	広島県山県郡安芸太田町	中国縦貫自動車道(千代田IC～戸河内IC間)	NEXCO西日本 安芸太田町
きりしま 霧島	鹿児島県霧島市	東九州自動車道(国分IC～隼人東IC間)	NEXCO西日本 霧島市

※<sup>1</sup> スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※<sup>2</sup> スマートインターチェンジの名称(加計は除く)は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

### 地域活性化インターチェンジ※<sup>3</sup>の新規事業化箇所

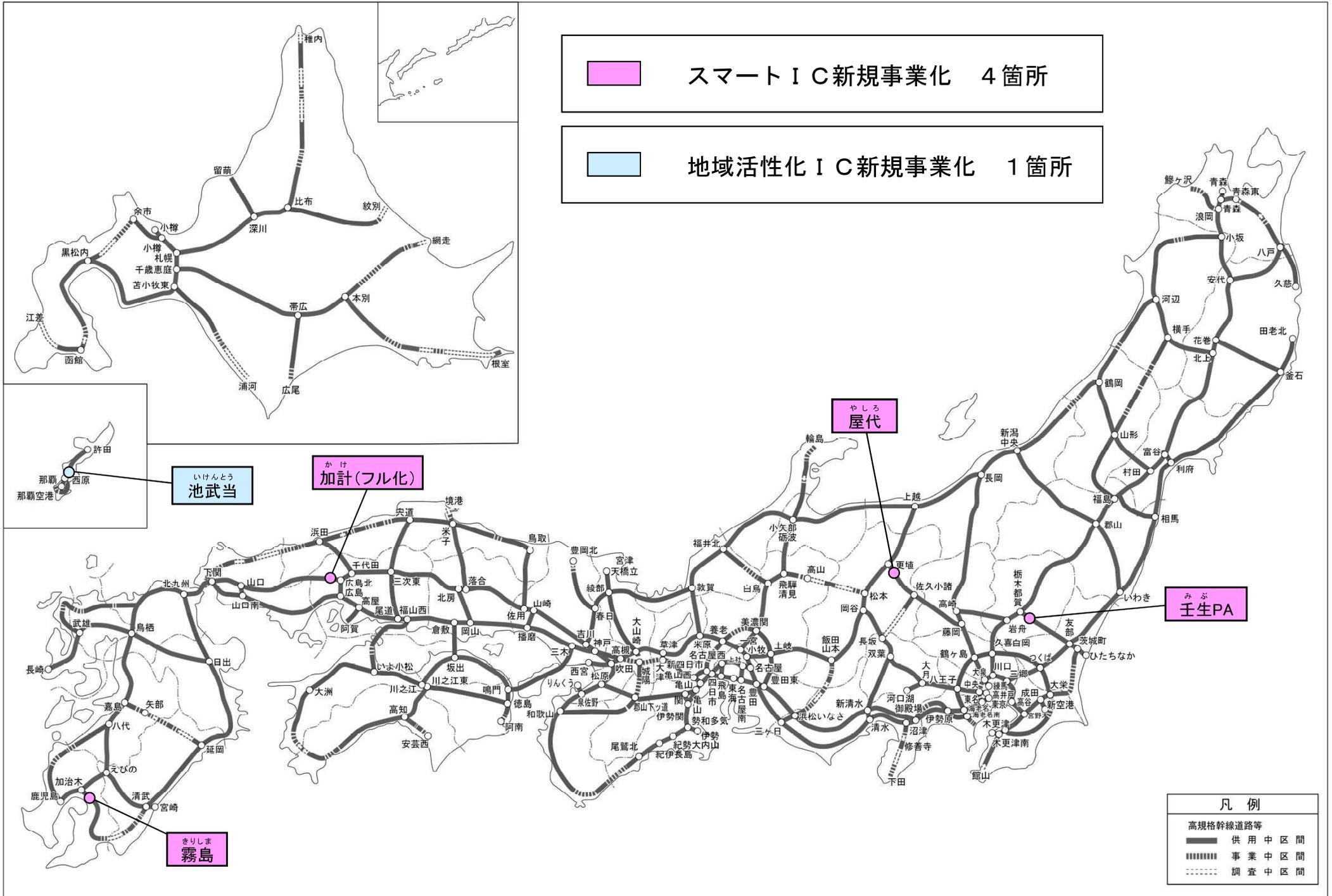
インターチェンジの名称(仮称)※ <sup>4</sup>	連結位置	路線名	事業主体
いけんとう 池武当	沖縄県沖縄市	沖縄自動車道(沖縄南IC～沖縄北IC間)	NEXCO西日本 沖縄県

※<sup>3</sup> 地域活性化インターチェンジとは、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構及び高速道路株式会社が有料道路として整備・管理する区間において設置されるインターチェンジです。

※<sup>4</sup> インターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

# スマートインターチェンジ等新規事業化箇所図

別添①



# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

## ■北関東自動車道 壬生PAスマートIC(仮称)

### <概要>

路線名：北関東自動車道

(都賀IC～壬生IC間)

設置場所：栃木県下都賀郡壬生町

接続形式：SA・PA接続型

形式：全方向（4/4）

運用形態：全車種 24時間

### <位置図>



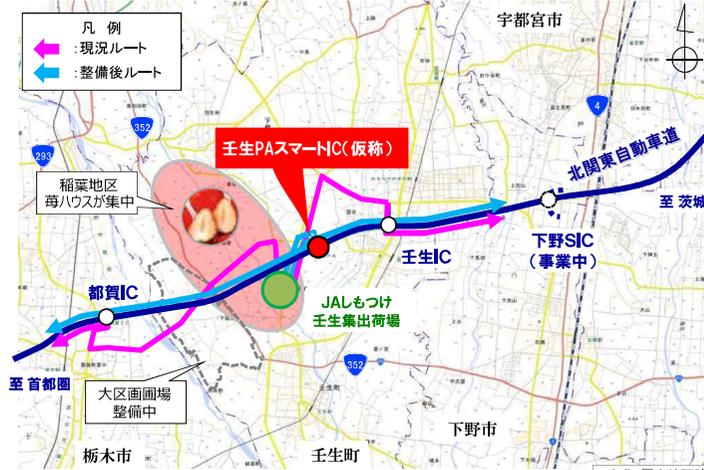
## 整備効果 アクセス向上による地域活性化と防災機能の強化

- ・スマートICの整備により、「とちぎわんぱく公園」や「おもちゃ博物館」等主要観光施設へのアクセス向上と、みぶハイウェイパークと連携した効果的な情報発信により、広域交流人口拡大による地域活性化の促進が図られる。
- ・防災道の駅みぶや広域災害対策活動拠点「とちぎわんぱく公園」へ高速道路からのダイレクトアクセスが可能となり、災害時における救助・救援活動、物資輸送の迅速化・効率化が図られる。



## 整備効果 農産物の輸送力強化

- ・いちごのハウスが集積し、圃場整備による単位農地の大区画化により農業生産性の向上を推進している町西部の稲葉地区から高速道路へのアクセスがスマートICの設置により向上し、農産物の輸送力が強化される。



# スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添②

## ■上信越自動車道 屋代スマートIC(仮称)

### <概要>

路線名： 関越自動車道上越線  
さかき ながの  
 (坂城IC～長野IC間)

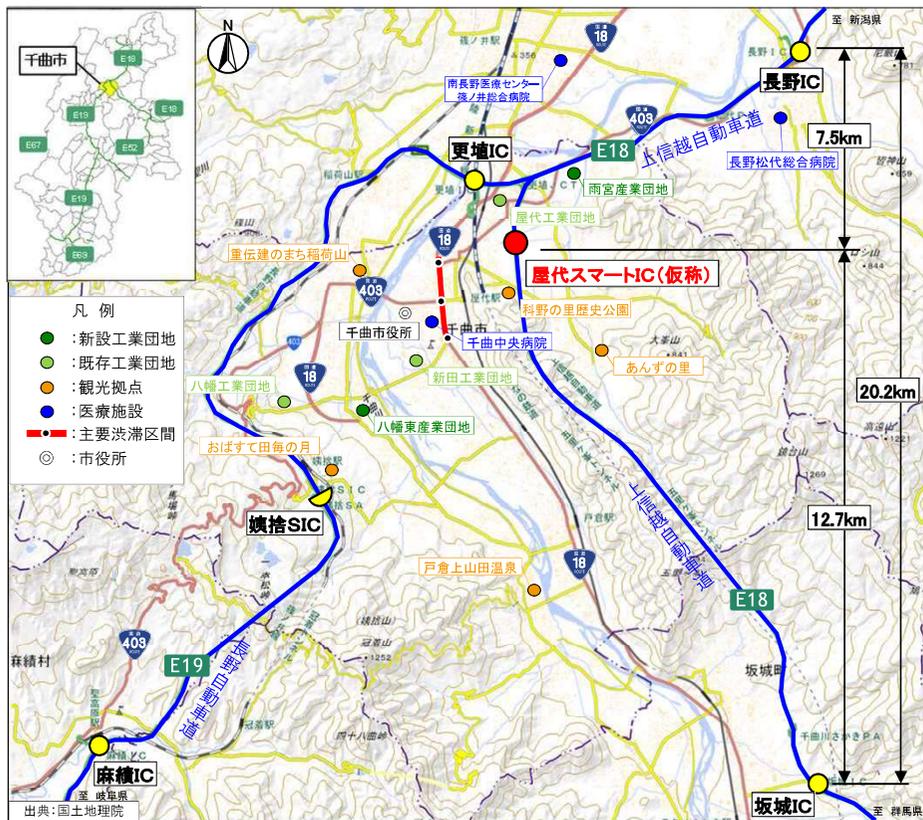
設置場所： 長野県千曲市

接続形式： 本線直結型

形式： 全方向(4/4)

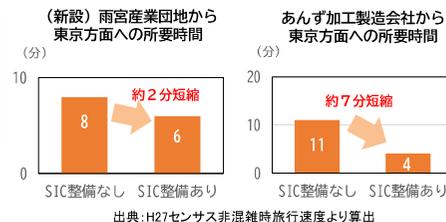
運用形態： 全車種 24時間

### <位置図>



## 整備効果 産業促進と物流の効率化

- ・新設の雨宮産業団地にて建築中の半導体製造工場・物流関連施設が順次操業予定。
- ・スマートICの設置により、操業に伴い発生する大型車輸送による更埴ICへの交通量集中の分散が図られるとともに、各産業拠点から東京方面への高速道路アクセス時間の短縮により、輸送時間の短縮及びコストの削減が期待される。



雨宮産業団地内建築状況(令和5年8月撮影)



## 整備効果 観光促進

- ・スマートICの設置により、東京方面から主要観光地へのアクセス時間は7分短縮され、渋滞を回避したアクセス性向上により更なる入込客数の増加が期待される。
- ・市内における他の観光拠点への周遊観光を誘発し、近年のコロナ禍により減少が見られる戸倉・上山田温泉への宿泊客の増加が期待される。



## 中国自動車道 加計スマートIC(フル化)

### <概要>

- 路線名：中国縦貫自動車道  
(千代田IC～戸河内IC間)
- 設置場所：広島県山県郡安芸太田町
- 接続形式：本線直結型
- 形式：全方向(4/4)
- 運用形態：全車種 24時間

### <位置図>



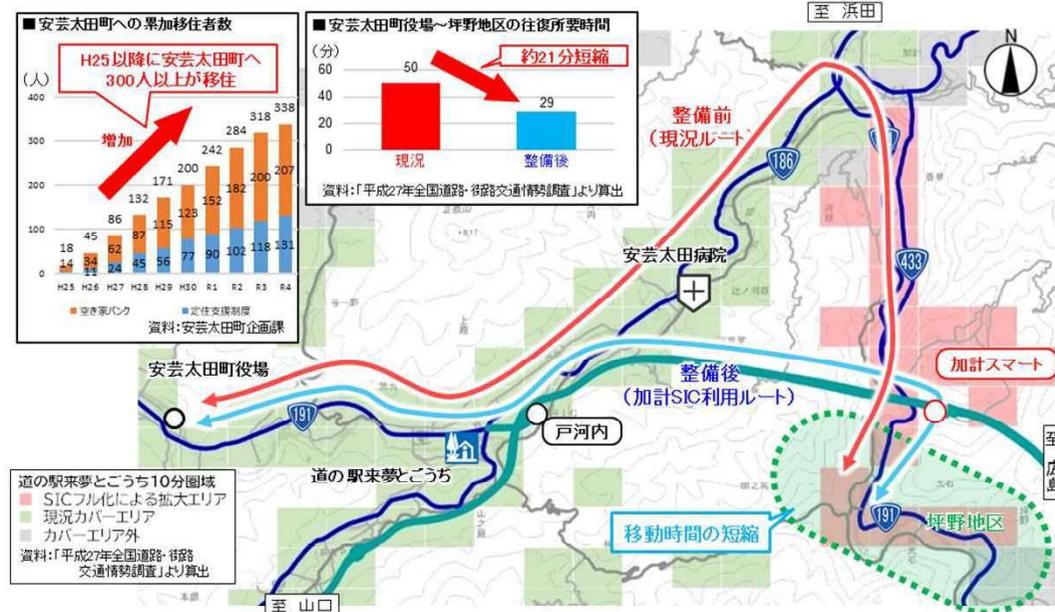
## 整備効果 地域資源を活かした観光振興の推進

・フルインター化により、近隣観光地からアクセスが向上。海外メディアでも紹介された「井仁の棚田」をはじめ周辺観光地への来訪者増加が期待される。



## 整備効果 移住・定住促進と持続的な地域づくりの推進

・フルインター化により、インター周辺地区から生活基盤施設(役場や病院など)への移動時間が短縮され、日常生活の利便性向上により、更なる移住者数の増加が期待される。



## 東九州自動車道 霧島スマートIC(仮称)

### <概要>

路線名：東九州自動車道

(国分IC～隼人東IC間)

設置場所：鹿児島県 霧島市

接続形式：本線直結型

形式：全方向(4/4)

運用形態：全車種 24時間

### <位置図>

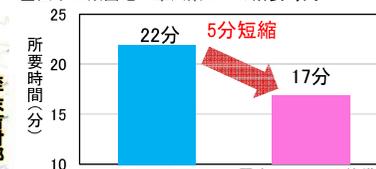


### 整備効果 産業振興

- 霧島市は、電子部品・半導体産業が盛んであり、企業立地件数や新規雇用者数も増加しており、新たな工業団地整備や工場建設計画が進んでいる。
- スマートICの整備により、半導体関連工場から高速道路ICへのアクセス性が向上し、企業活動の活性化や企業進出および新規雇用者の増加等が図られる。



■山下工業団地⇒隼人東ICへの所要時間



資料：ETC2.0プローブデータ(R2.10~R2.12平日クビーク：17時台)

■新工業団地整備・新工場建設計画



### 整備効果 観光振興

- 霧島市には人気観光スポットが多く、観光客も増加傾向にある。
- スマートICの整備により、霧島市中心部や周辺観光地との新たな周遊観光ルートが形成される等、更なる観光振興が図られる。



■霧島市の観光客数と鹿児島港のクルーズ船入港数の推移



#### 霧島市観光PR課の声

- 霧島神社が県内初の国宝認定されたことから、県外からの観光客が増加すると見込まれる。
- 霧島スマートIC(仮称)整備により、霧島市中心部に立ち寄って食事休憩等をする観光を誘発し、経済効果が期待できる。

資料：ヒアリング結果(R3.11、R5.1)

## ■沖縄自動車道 池武当IC(仮称)

### <概要>

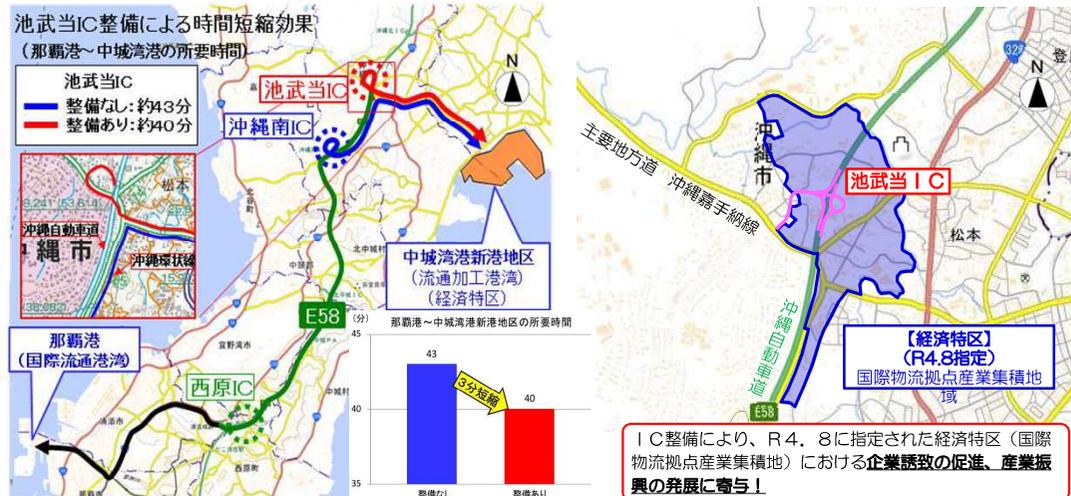
- 路線名 : 沖縄自動車道  
おきなわみなみ おきなわきた  
 (沖縄南IC～沖縄北IC間)
- 設置場所 : 沖縄県沖縄市  
おきなわし
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 全方向 (4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

### <位置図>



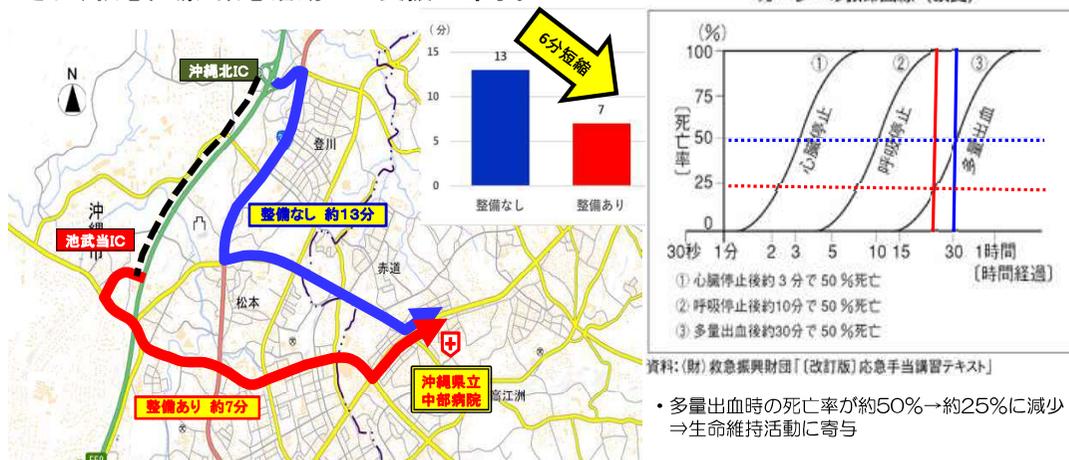
## 整備効果 地域活性化・産業

- 中城湾港から那覇港・那覇空港へアクセス向上により連携が強化され、沖縄県が目指す臨空・臨港型産業集積への支援が図られる。
- 池武当IC(仮称)に隣接する物流特区と沖縄自動車道へのアクセス向上により、企業誘致への支援、雇用創出、地域活性化が図られる。



## 整備効果 救急医療・緊急活動の支援

- 沖縄本島の中部、北部管内において、救命救急医療機関(第三次救急医療機関)として沖縄県立中部病院が沖縄市以北で唯一指定されており、「基幹病院」に位置付けられている。
- 池武当IC(仮称)の整備に伴い、沖縄自動車道から中部病院までの効率的なアクセスが確保され、救急医療・緊急活動への支援に寄与。



# スマートインターチェンジ※<sup>1</sup>の新規準備段階調査着手箇所

別添③

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ <sup>2</sup>	検討位置	路線名
もりや 守谷SA	茨城県 <small>もりや</small> 守谷市	常磐自動車道 <small>かしわ やわら</small> (柏IC～谷和原IC間)
つちうら 土浦	茨城県 <small>つちうら</small> 土浦市	常磐自動車道 <small>きくらつちうら つちうらきた</small> (桜土浦IC～土浦北IC間)
えなきょう 恵那峡SA	岐阜県 <small>えな</small> 恵那市	中央自動車道西宮線 <small>なかつがわ えな</small> (中津川IC～恵那IC間)
おおやまだ 大山田PA	三重県 <small>くわな</small> 桑名市	近畿自動車道名古屋亀山線 <small>くわなひがし くわな</small> (桑名東IC～桑名IC間)
こうよう 高陽	広島県 <small>ひろしま</small> 広島市	山陽自動車道吹田山口線 <small>ひろしまひがし ひろしま</small> (広島東IC～広島IC間)
やすぎ 安来	島根県 <small>やすぎ</small> 安来市	一般国道9号安来道路 <small>やすぎ ひがしいづも</small> (安来IC～東出雲IC間)
くるめみなみ 久留米南	福岡県 <small>くるめ</small> 久留米市	九州縦貫自動車道鹿児島線 <small>くるめ ひろかわ</small> (久留米IC～広川IC間)

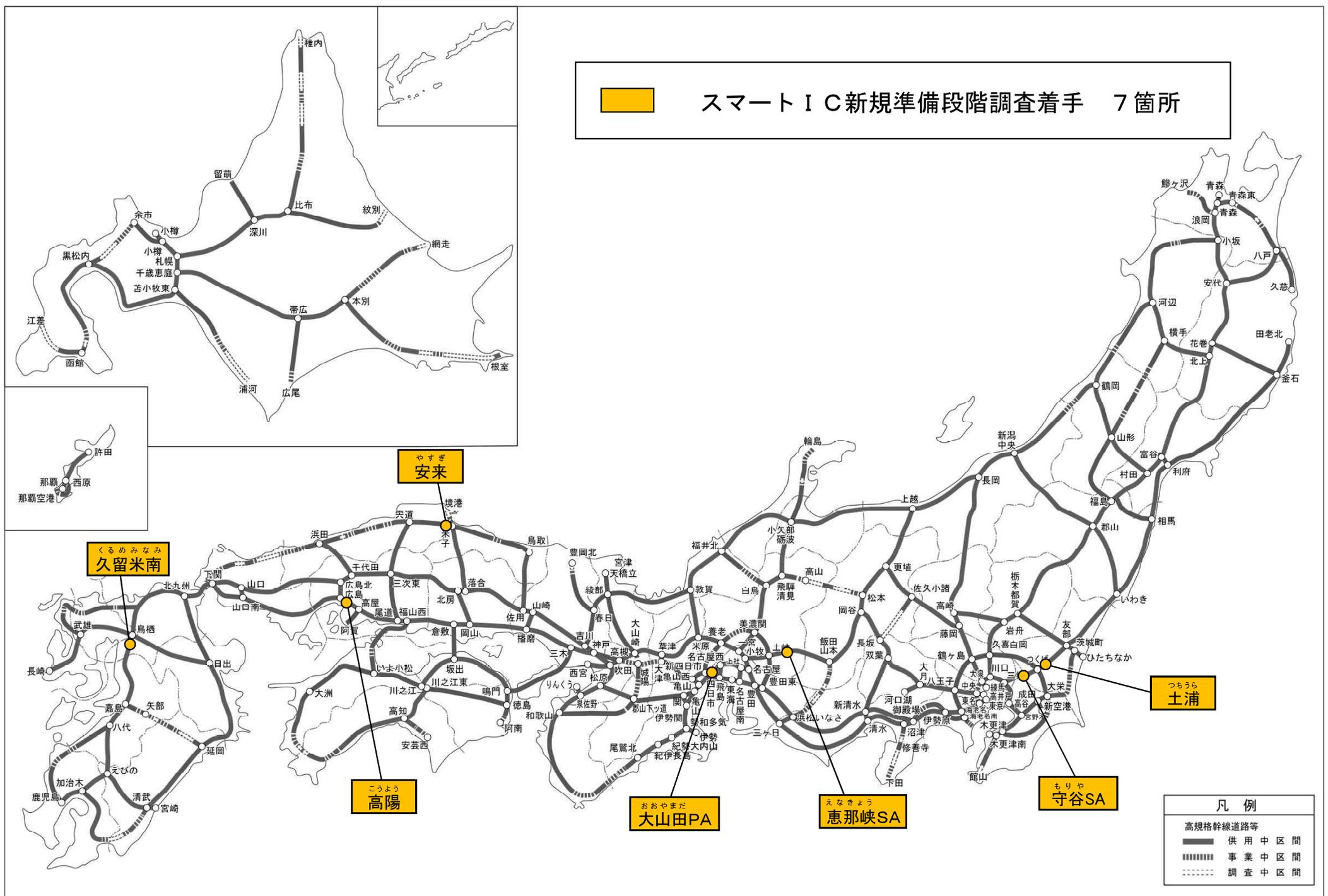
※<sup>1</sup> スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※<sup>2</sup> スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

# スマートインターチェンジの新規準備段階調査着手箇所図

別添③

**スマートIC新規準備段階調査着手 7箇所**



凡例

高規格幹線道路等	供用中 区間
事業中 区間	調査中 区間